



## 本間 友紀 Yuki Homma INTERVIEW

## オーダーメイドの旅行プランで 北海道の魅力発信

### 働きたいモチベーション維持のため 自分の仕事に誇りを持つのが大切

前職はシンガポールにあるアメリカ企業に3年ほど勤めていました。シンガポールで暮らしてみてもわかったのは、ほとんどの家庭がメイドを雇っていること。メイドの多くが海外からの出稼ぎ労働者で、家に住み込み、子どもの世話や家事全般をするので、女性は結婚・出産を経ても当たり前のように働いているんです。そのせいか専業主婦という概念がなく、社会的に仕事も夫婦関係も男女平等な印象があります。わたし自身、女性の多い職場で働いてきましたし、現在の職場も女性が活躍していますので、女性であることが不利に感じたことはありません。ただ、日本社会での働き方を考えると、まだまだ女性が働きやすい環境が整っているとは言えないのかもしれませんね。

海外に出て語学力やスキルを磨きたいけど、なかなか動き出せない人もいます。不慣れな土地で言葉も通じにくい環境に飛び込む不安はわかります。かつてのわたしもそうでした。でも、チャレンジしてみると、案外なんとかなるものです。そして海外に出るたびに日本、そして北海道の魅力に気づかされますよ。

#### PROFILE

1976年、札幌市生まれ。中学生のとき、アメリカにホームステイしたのがきっかけで海外生活に興味を持つ。現在は北海道宝島トラベルでインバウンド事業部統括マネージャーを務める。ほんわかとした雰囲気なのに、かなりの行動派！  
ホームページ  
<http://www.hokkaido-sightseeing.com>



### 現在の仕事(活動)と やりがい

海外から旅行で来る個人客に向けて、北海道の旅行をオーダーメイドで作成・手配しています。このほか、海外に向けてのプロモーションや商談会参加等。お客さまからご要望を細かくヒヤリングして、その方にあった旅程を提案できるため、お客さまの満足度も高く、やりがいもあります。また、自分の好きな場所、景色、食べ物を自由に提案でき、それが地元の宝物発掘になり、北海道の新たな価値としてお客さまによるこんでもらえるので、微力ながら北海道の活性化に貢献できていることがうれしいです。

### 女性が活躍する上で、 不足していること

将来を考えると産休や育児休暇がしっかりととれること、そしてその後も復帰しやすい職場環境や自分の居場所が確保できることが大切だと思います。例えば、育児休暇中の在宅勤務やパートタイム制度等フレキシブルな就労体制が求められるのではないのでしょうか。もとより一番大切なのは、結婚・出産を経ても「働きたい」というモチベーション。男女平等にやりがいのある仕事をしていることが求められると思います。





①カナダ留学中、母親とカナダ旅行を楽しんだのはいい思い出 ②オーストラリアのエアーズロックを背景に記念撮影 ③オーストラリアでのアルバイト先の上司とともに  
④シンガポールで勤務していた会社の上司たちとの食事会 ⑤海外の商談会に参加(2013年) ⑥添乗員資格を取得して、視察ツアーに同行

## ライフ 年表

20 歳

就職  
短大卒業後、航空会社に

24 歳

カナダに一年半留学

26 歳

帰国  
ヨーロッパ家具を扱う会  
社に勤め、輸入全般に携  
わる

29 歳

オーストラリアに  
ワーキングホリデー

30 歳

シンガポールで、電子部  
品を製造・販売するアメ  
リカの企業に就職

33 歳

帰国

35 歳

現在の会社に契約社員と  
して入社

36 歳

同社で正社員となる

### キャリアでの 忘れられないエピソード

航空会社ではホスピタリティの基礎を学び、接遇インストラクターも務めました。いろいろな経験を経て、現在またお客さまをおもてなしする仕事をしてありますが、すべての原点は航空会社での勤務経験にあります。シンガポールへの就職はオーストラリア在時に応募し、すべて引き上げてシンガポールへ面接に向かいました。バックパッカーで無料の食パンをかじり、面接場所に行き、その場で内定をいただき、翌朝には豪華ホテルのプールサイドで朝食を食べていたギャップは忘れられません。

### 仕事と家庭の両立で 工夫していること

細々ながらもヨガやジョギング、水泳などを続けています。疲れたときほど心身ともに健康になれる運動は生活に不可欠だと思っています。3食デスクでコンビニ弁当になってしまうこともあるので、できるだけ自炊を心掛け、手づくりのお弁当やお菓子を持参するなど健康にも気を使っています。

### プライベート(休日など)の 過ごし方

趣味はヨガや読書。お休みの日は、視察をかねたドライブに出掛けることが多く、趣味の写真撮影も楽しめています。また、お料理と食べることが好きで、新しいレストラン発掘に出掛けることも仕事に繋がるので、楽しみながらできています。

### 女性が活躍すること についての意義

たくさんの優秀な女性が結婚・出産というライフイベントを経ても、なお高いモチベーションを持って社会に貢献できる場が増えることで、男女ともにライフ・ワーク・バランスが整い、より豊かで強い国に発展していくのではないかと思います。

### 将来の 展望・目標

ひとつでも多くの価値を北海道に提供し、それを外国のお客さまに知ってもらうことで北海道の活性化に貢献できればと思っています。さまざまな国での経験をいかして、女性ならではの視点で見たおもてなしやホスピタリティもどんどん実践していきたいです。また、そのような女性がひとりでも多く活躍できることを期待します。

### 後輩女性への メッセージ

北海道を出て外国で暮らしたことで、あらためて北海道の素晴らしさを感じました。海外で得たさまざまな経験を、今はこの北海道でいかせることをしあわせだと思います。ぜひ一度海外に出て、外から北海道を見てほしい。新しい発見ができ、自分のすべきこと、できることに気づかれます。